

題材名「渋染め一揆に学ぶ」

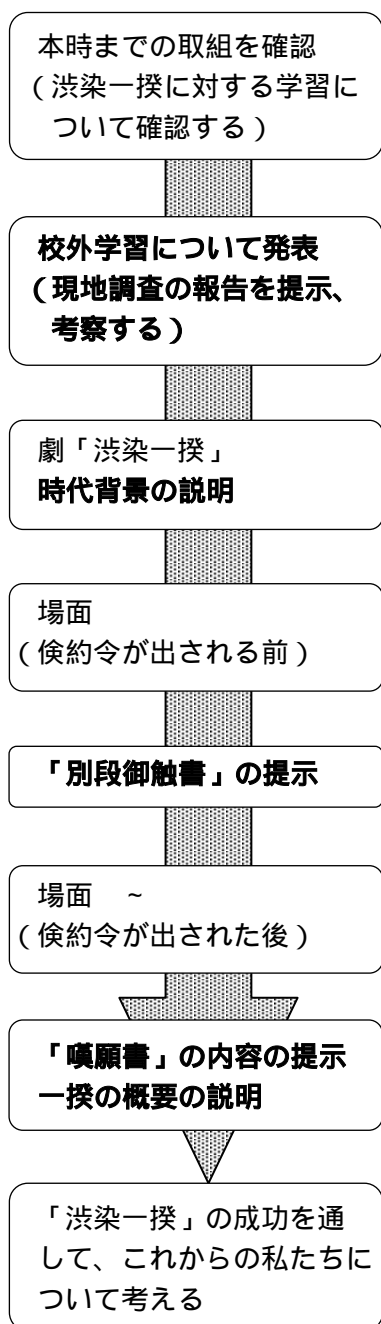
目標

- ・ 差別解消について全校生が共通体験をもとに共感しあう場をつくる。
- ・ 同和学習を継続・深化させる一歩として「渋染め一揆」の劇を計画し、3年生全員で劇を構成する。

コンピュータを活用する利点

劇の時代背景や劇の中に隠されている課題を音声のみで伝えるだけでなくプレゼンテーション用ソフトウェアを通して視覚に訴えることで、共感し考えるべきポイントを伝えることができる利点があると考えられる。

授業の流れ



ICT 活用場面

劇だけでは表現しきれない部分や、劇のポイントがどこにあるのかを表現するためコンピュータを活用した。

しかし、ICT 活用と劇を同時進行にすれば内容に係わらず、ICT 活用の十分な効果が得られないと考え、いつどこで活用するかは大きな課題であった。そこで、劇の補助的な役目が果たせる内容を検討し、場面がかわるタイミングを利用し活用していくことを決め、準備を進めた。ICT 活用の内容は、劇に至るまでの学習活動と「渋染め一揆」があった時代背景を写真や文字で構成したものを提示するものである。ICT 活用の仕方や構成内容について、教師が助言に入ったが、3年の生徒が中心となりすすめることができた。



成果と課題

劇における表現力は十分とはいえないが、3年生全員が目的意識を持ち最後までやり遂げたことで多くの生徒が一体感や達成感を感じることができた。また、補助的役割の ICT 活用は、事前の取り組みと劇、これからの姿勢を結び付ける役割を果たせたものの、表現方法や提示の仕方について課題が残った。劇を見た1・2年生においては、「必死に表現しようとする3年生に引きつけられ共感できた。」という感想を多くの生徒から伺えたことも大きな成果である。

ICT 活用環境等

使用周辺機器	ノートパソコン1台、プロジェクター1台
使用ソフト名	Microsoft Power Point
使用教室	体育館